

### Ⅲ 耕地の利用状況

#### 1 夏期における田本地の利用状況

(1) 平成18年夏期（おおよそ水稲の栽培期間）における田本地の利用状況をみると、水稲作付田は169万1,000ha（青刈り面積を含む。）で、前年に比べて1万7,000ha（1%）減少した。水稲以外の作物のみの作付田は42万8,100haで、前年に比べて3,000ha（1%）減少した。また、夏期全期不作付地は27万8,800haで、前年に比べて8,600ha（3%）増加した。

この結果、田本地に占める水稲作付田の割合は前年に比べて0.4ポイント低下して70.5%となり、水稲以外の作物のみの作付田の割合は17.9%で前年並み、夏期全期不作付地の割合は前年に比べて0.4ポイント上昇して11.6%となった。（表13）

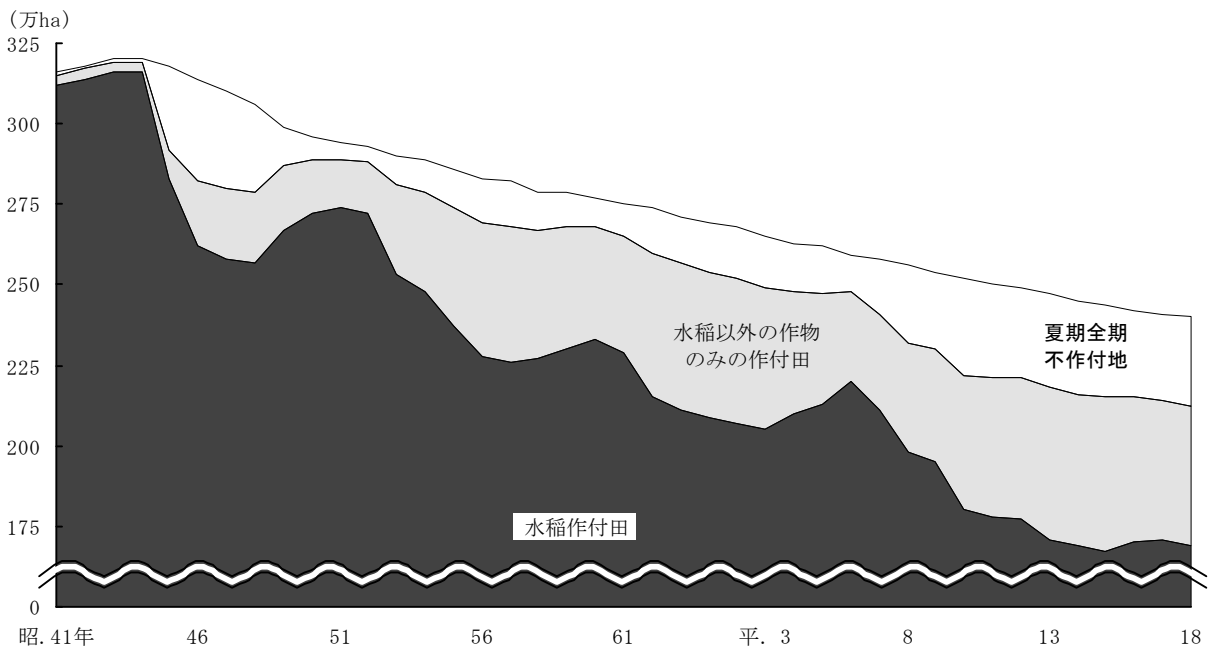
表13 平成18年夏期における田本地の利用状況

区 分	面 積	前年との比較		構成比
		対 差	対 比	
	ha	ha	%	%
田 本 地	2 398 000	△ 12 000	100	100.0
水 稲 作 付 田	1 691 000	△ 17 000	99	70.5
水稲以外の作物のみの作付田	428 100	△ 3 000	99	17.9
夏 期 全 期 不 作 付 地	278 800	8 600	103	11.6

(2) 夏期における田本地の利用状況の動向をみると、昭和45年に米の生産調整が実施されて以降、米の生産調整面積の変動による増減はあるものの、水稲作付田は減少傾向で推移し、水稲以外の作物のみの作付田及び夏期全期不作付地については増加傾向で推移している。

（図20）

図20 夏期における田本地の利用状況の推移



## 2 農作物作付(栽培)延べ面積及び耕地利用率

### (1) 農作物作付(栽培)延べ面積

#### ア 田畑計

平成18年農作物作付(栽培)延べ面積は434万6,000haで、前年に比べて3万8,000ha(1%)減少した。(表14)

これは、麦類等の作付面積が増加したものの、稲、飼肥料作物、野菜等の作付(栽培)面積が減少したためである。

作付(栽培)延べ面積の動向をみると、昭和40年代は麦類を中心とした水田裏作の減少や、45年から始まった米の生産調整による不作付地の急増により田を中心に大幅に減少を続けてきたものの、49年以降は麦類の生産振興による作付回復等からほぼ横ばいで推移した。60年以降は生産者の労働力事情等により麦類及び豆類等も減少し、平成10年からは米の生産調整の一環で麦類及び豆類の作付けは増加したものの、総体的には減少傾向で推移している。(図21)

#### イ 田

田の作付(栽培)延べ面積は235万4,000haで、前年に比べて2万5,000ha(1%)減少した。(表14)

これは、大豆を中心に豆類等の作付けが増加したものの、主に水稻や、畜産飼養戸数の減少により飼肥料作物の作付け(栽培)が減少したためである。

表14 平成18年農作物作付(栽培)延べ面積及び耕地利用率

単位：ha

区 分	田 畑 計				田				畑			
	作付(栽培) 延べ面積	前年との比較		耕 地 利用率	作付(栽培) 延べ面積	前年との比較		作付(栽培) 延べ面積	前年との比較			
		対差	対比			対差	対比		対差	対比		
作付(栽培)延べ面積	4 346 000	△ 38 000	99	93.0	2 354 000	△ 25 000	99	1 992 000	△ 13 000	99		
稲	1 688 000	△ 18 000	99	36.1	1 684 000	△ 17 000	99	4 310	△ 400	92		
麦 類	272 400	3 700	101	5.8	167 500	200	100	104 900	3 500	103		
か ん し ょ	40 800	0	100	0.9	3 100	70	102	37 700	△ 100	100		
雑 穀	46 100	200	100	1.0	30 300	600	102	15 800	△ 400	98		
豆 類	194 500	600	100	4.2	125 700	4 900	104	68 800	△ 4 300	94		
野 菜	557 800	△ 5 400	99	11.9	147 900	△ 2 400	98	409 900	△ 3 000	99		
果 樹	261 800	△ 3 600	99	5.6	-	-	-	261 800	△ 3 600	99		
工芸農作物	176 300	△ 1 800	99	3.8	9 260	△ 460	95	167 100	△ 1 200	99		
飼肥料作物	1 018 000	△ 12 000	99	21.8	159 200	△ 9 400	94	858 400	△ 3 200	100		
その他作物	90 300	△ 1 600	98	1.9	27 300	△ 700	98	63 100	△ 800	99		
耕地面積	4 671 000	△ 21 000	100	-	2 543 000	△ 13 000	99	2 128 000	△ 8 000	100		
本地面積	4 479 000	△ 19 000	100	-	2 398 000	△ 12 000	100	2 081 000	△ 7 000	100		
耕地利用率	93.0%	△0.4ポイント	-	-	92.6%	△0.5ポイント	-	93.6%	△0.3ポイント	-		
本地利用率(参考)	97.0%	△0.5ポイント	-	-	98.2%	△0.5ポイント	-	95.7%	△0.3ポイント	-		

注：耕地利用率及び本地利用率は、耕地面積又は本地面積に対する作付(栽培)延べ面積の割合である。

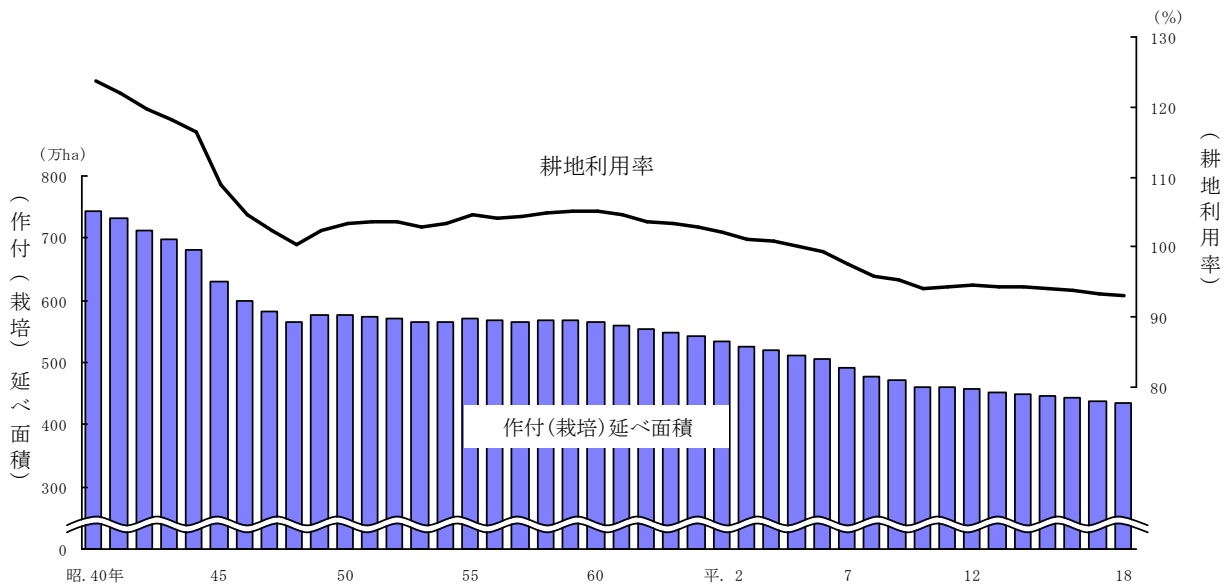
$$\text{耕地(本地)利用率(\%)} = \frac{\text{作付(栽培)延べ面積}}{\text{耕地(本地)面積(7月15日現在)}} \times 100$$

## ウ 畑

畑の作付(栽培)延べ面積は199万2,000haで、前年に比べて1万3,000ha(1%)減少した。(表14)

これは、北海道における小麦を主体とした麦類の作付けが増加したものの、小豆が減少した豆類のほか、果樹、飼肥料作物、野菜等の作付け(栽培)が減少したためである。

図21 農作物作付(栽培)延べ面積及び耕地利用率の推移



## (2) 耕地利用率

### ア 田畑計

平成18年耕地利用率は93.0%で、前年に比べて0.4ポイント低下した。(表15)

なお、本地利用率(本地面積に対する作付(栽培)延べ面積の割合)は97.0%で、前年に比べて0.5ポイント低下した。

耕地利用率の動向をみると、昭和41年には121.9%であったが、42年以降低下傾向で推移し、平成6年には100%を下回った。平成11年に昭和59年以来15年ぶりに上昇した以降は、ほぼ横ばい傾向で推移している。(図21)

### イ 田

田の耕地利用率は92.6%で、前年に比べて0.5ポイント低下した。

これを全国農業地域別にみると、北海道で上昇したものの、それ以外の地域では低下した。

なお、九州では、水稻や豆類の裏作として麦類等の作付けを行う年二作体系の耕地が多いこと、沖縄では水稻の二期作が行われていること等から、それぞれ100%を上回っている。(表15)

また、本地利用率は98.2%で、前年に比べて0.5ポイント低下した。

ウ 畑

畑の耕地利用率は93.6%で、前年に比べて0.3ポイント低下した。

これを全国農業地域別にみると、北海道で上昇し、沖縄では前年並みであったものの、それ以外の地域では低下した。

なお、北海道では、飼肥料作物のすき込みによる輪作があることから、100%を上回っている。(表15)

また、本地利用率は95.7%で、前年に比べて0.3ポイント低下した。

表15 平成18年農作物作付(栽培)延べ面積及び耕地利用率(全国農業地域別)

全 国 農 業 地 域	田 畑 計			田			畑		
	作付(栽培) 延べ面積	耕地利用率		作付(栽培) 延べ面積	耕地利用率		作付(栽培) 延べ面積	耕地利用率	
		本 年	対前年差		本 年	対前年差		本 年	対前年差
	ha	%	ポ イ ン ト	ha	%	ポ イ ン ト	ha	%	ポ イ ン ト
全 国	4 346 000	93.0	△ 0.4	2 354 000	92.6	△ 0.5	1 992 000	93.6	△ 0.3
北 海 道	1 165 000	99.9	0.3	213 500	94.1	0.4	951 200	101.3	0.2
都 府 県	3 181 000	90.7	△ 0.7	2 141 000	92.4	△ 0.6	1 041 000	87.5	△ 0.7
東 北	765 500	86.9	△ 0.5	555 500	88.4	△ 0.5	210 100	83.4	△ 0.4
北 陸	284 600	88.3	△ 0.4	254 900	88.1	△ 0.3	29 600	89.2	△ 2.1
関東・東山	699 200	91.0	△ 0.7	403 600	94.8	△ 0.6	295 600	86.3	△ 0.9
東 海	252 500	90.2	△ 0.7	151 300	91.6	△ 0.4	101 300	88.4	△ 0.9
近 畿	209 300	87.6	△ 0.9	162 500	87.6	△ 1.2	46 700	87.1	△ 0.6
中 国	206 700	80.6	△ 0.5	156 500	79.4	△ 0.2	50 300	84.4	△ 1.5
四 国	138 300	92.1	△ 0.9	89 000	93.8	△ 0.7	49 300	89.2	△ 1.1
九 州	589 900	103.5	△ 0.8	366 300	111.2	△ 1.0	223 600	93.0	△ 0.5
沖 縄	35 300	90.1	0.0	1 120	128.1	△ 1.9	34 100	88.8	0.0